中小企業あきた

1 「FOODEX JAPAN 2015」への出展を支援！ …… 1
2 中小企業・小規模事業者対策等について要望 …… 2
3 日銀野見山秋田支店長が来所
～県内景況等について意見交換～ …… 2
4 プルタブ回収で車椅子を寄贈 …… 3

○地元中小企業者の受注機会の確保について要望……3
○景況レポート２月分 ……4
○話題の広場
中央会事業より……6
アラカルト……7
インフォメーション……8
○人事異動のお知らせ……9

4
APRIL.2015

あんべいいな秋田県
あきたびじん

TOPICS 1 トピックス SPECIAL FEATURES

「FOODEX JAPAN 2015」への出展を支援！

【会場の様子（秋田県ブース）】

3月3日（火）から6日（金）までの4日間、千葉県の幕張メッセにおいてアジア最大級の国際商品・飲料展示商談会「FOODEX JAPAN 2015」（主催：一般社団法人日本能率協会ほか）が開催され、4日間合計で約77,000人が来場し、会場は連日熱気に包まれました。

本会は、秋田県、秋田県信用保証協会と共同で「秋田県ブース」を設置し、本会が選定した「株式会社四季彩（秋田市）」「株式会社くまがい卵油研究所（北秋田市）」「高茂合名会社（湯沢市）」「株式会社鈴木青果問屋（横手市）」「株式会社淡路製粉（潟上市）」の5社を含む11社についての支援のため、職員が交代でブースに常駐し、パンフレットを配布する等、本県ブースに来場者を誘導し商品のPRを行いました。

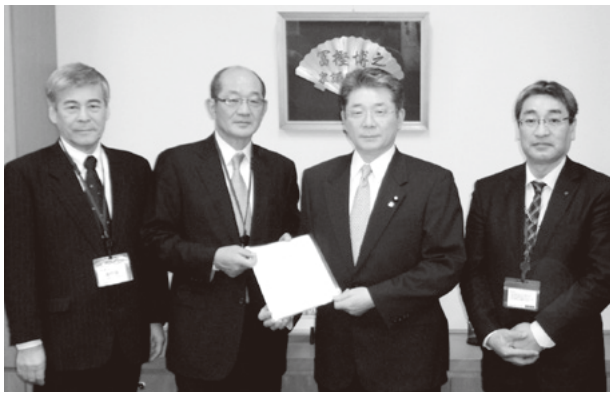
【極上ベリーヨーグルトムース（（株）四季彩）】

出展企業からは、「多くの商談ができたほか、他社の商品も見ることができ、非常に参考になった。今後は成約に結びつけられるようアプローチをしていきたい。」等の前向きな声が聞かれ、本会でも、各支援機関と協力し、引き続き販路開拓等の支援をしていくことにしています。

TOPICS 2 トピックス SPECIAL FEATURES
中小企業・小規模事業者対策等について要望

3月4日(水)、本会藤澤正義会長及び髙橋清悦専務理事が衆議院議員会館を訪れ、冨樫博之衆議院議員(経済産業委員会委員)に対し、中小企業・小規模事業者対策を柱とする要望書を手渡し、陳情・要望を行いました。

藤澤会長からは、「本県では、倒産件数より廃業件数が多くなっており、事業承継が重要なテーマとなっているので、税制面等で円滑な事業承継が進むよう配慮して頂きたい。」と県内企業の厳しい現状について訴えました。


【要望の様子(左から髙橋専務理事、藤澤会長、冨樫代議士、加藤事務局長)】

また、髙橋専務理事からは、中小企業・小規模事業者対策として以下の5項目の要望等について詳しい説明を行い、その後本県の中小企業・小規模事業者の支援について率直な意見交換が行われました。

最後に、冨樫代議士から「本日頂いた要望事項については、真摯に対応して参りたい。」との力強い回答を頂きました。

中小企業・小規模事業者対策について
- **(1)ものづくり・商業・サービス革新事業の継続実施について**
- **(2)円滑な事業承継の促進について**
- **(3)法人税減税に伴う外形標準課税の適用拡大反対について**
- **(4)消費税単一税率の維持について**
- **(5)政策金融(商工中金)の維持・強化について**

TOPICS 3 トピックス SPECIAL FEATURES
日銀野見山秋田支店長が来所
～県内景況等について意見交換～

3月25日(水)、日銀秋田支店の野見山浩平支店長等が本会を訪れ、本会の藤澤正義会長や髙橋清悦専務理事と、県内における景況感や中小企業の動向等について意見交換を行いました。

はじめに、本会が行った消費税増税・円安の影響調査や情報連絡員月次景況調査結果等について説明を行い、次に、県内中小企業・小規模事業者の経営状況について懇談しました。主な話題として、①円安による影響のため、県内においても業種・規模によって業況に格差が生じていること、②賃上げについても、首都圏ほど大幅アップできるような経営状況にないこと、③円滑な事業承継に関しても、なお克服すべき課題が山積していること、④本県経済の特性として、ディフェンスは強いがオフェンスが弱く、相対的に景気回復の足取りが遅い、等が挙げられ、最後に本会の活動方針として、藤澤会長から「信頼される中央会になるために、積極的に事業所を訪問して、情報収集や施策等の情報提供に努めている。また、昨年4月に施行された県の中小企業振興条例に則り中小企業・小規模事業者を支えていくため、中央会の相談機能の更なる充実・強化を図っていく。」と述べられました。

【日銀野見山秋田支店長(右奥)と本会藤澤会長(左奥)】

今後も、県内中小企業の動向を的確に把握するため、定期的に意見交換が行われる予定です。

TOPICS 4 プルタブ回収で車椅子を寄贈

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

本会では、地域貢献活動として「ボランティア清掃活動」と「プルタブ回収活動」を行ってきましたが、この度、回収したプルタブを一般社団法人環公害防止連絡協議会に引き渡し「車椅子」と交換したため、秋田魁新報社を通じ県内の福祉施設等へ寄贈することとし、3月10日（火）に株式会社秋田魁新報社（秋田市）において、車椅子の贈呈式を行いました。

【贈呈式（左:本会藤澤会長、右：秋田魁新報社熊谷常務取締役）】

贈呈にあたり、本会藤澤正義会長からは、「これまでのプルタブ回収が環境の美化に繋がっただけでなく、車椅子という形で地域の役に立つことができ、大変うれしく思っています。今後も継続して、地域社会に貢献できるよう取り組んで参ります。」と社会貢献活動に対する抱負を述べました。

本会が約3年間にわたり行ったプルタブ回収活動では、会員組合をはじめ秋田市内の小中学校や社会福祉法人等多数の団体・個人からご協力をいただき、1トンを超えるプルタブを回収することができました。

これまで多大なご協力を賜りました皆様に対し、役職員一同、心より御礼を申し上げますとともに、今度ともご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

【プルタブと交換した車椅子】

地元中小企業者の受注機会の確保について要望

3月23日（月）、由利本荘市管工事協同組合（斉藤誠理事長）の斉藤理事長他理事4名が由利本荘市役所を訪れ、長谷部誠由利本荘市長に対して秋田県官公需受注対策協議会との連名による要望書を手渡し、「分離・分割発注方式の採用」「技術力ある地元企業への発注」「由利本荘市総合防災公園建設工事について」の計3項目について要望を行いました。

【長谷部市長（左）に要望書を渡す斉藤理事長】

由利本荘市では、市内石脇地区の国道7号線に面した「国立療養所跡地」において、平成27年度からの5年計画で総合防災公園の建設工事を予定しています。この工事は、公園造成だけでなく、スポーツ施設や防災機能を合わせた複合型交流施設を建設する大規模な工事であることから、斉藤理事長は「地元中小企業・小規模事業者が受注できるよう分離・分割発注を徹底して頂きたい。」と強く要望しました。

これに対して、長谷部市長からは「地元企業で対応できる工事については、できるだけ地元に行き渡るように配慮していきたい。」との回答を頂きました。

景況レポート

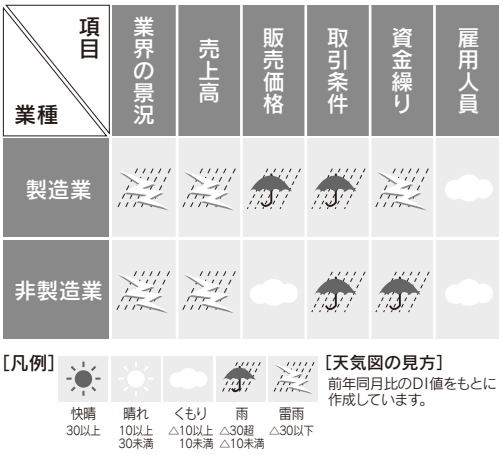
（2月分・情報連絡員80名）

景況DI値が3年7ヶ月ぶりに −40台まで悪化　～回復感見られず～

【概況（全体）】2月分の県内景況は、全体の景況DI値が−42.5となり、前月調査と比較して3.8ポイント下回った。

県内景況は、前月に引き続き燃料価格の下落により運輸業では業況がやや改善したが、原材料価格の高止まりにより、業界全体のDI値は平成23年7月調査以来、3年7ヶ月ぶりの−40台となった。

なお、依然として、需要の低迷や個人消費の低迷が続いており、県内景況に回復感が見られていない状況となっている。　（回答数：80名回収率：100%）



【概況（製造業）】製造業の景況DI値は−53.2となり、3ヶ月連続の−50台となった。食料品、印刷、一般機器では、原材料価格の高止まりの影響により前年同月比で収益状況が悪化している。

また、木材・木製品（一般製材）では、新築住宅戸数が減少傾向となっており、市況が好転する兆しは見られていない。

【概況（非製造業）】非製造業の景況DI値は−35.5となり、2ヶ月連続で悪化した。運輸業では、燃料価格の下落により前年同月比で収益が増加している。

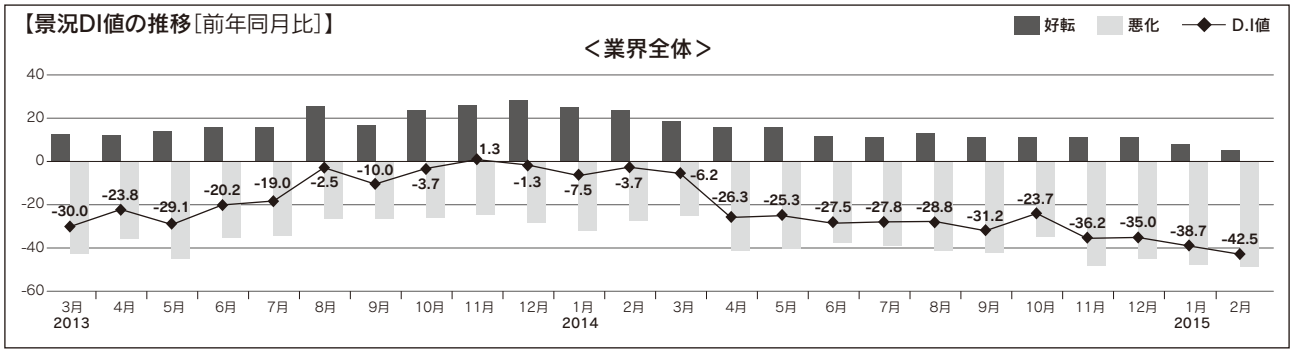
一方、建設業では、新規受注工事が少ないため、先行きが不透明な状況となっている。

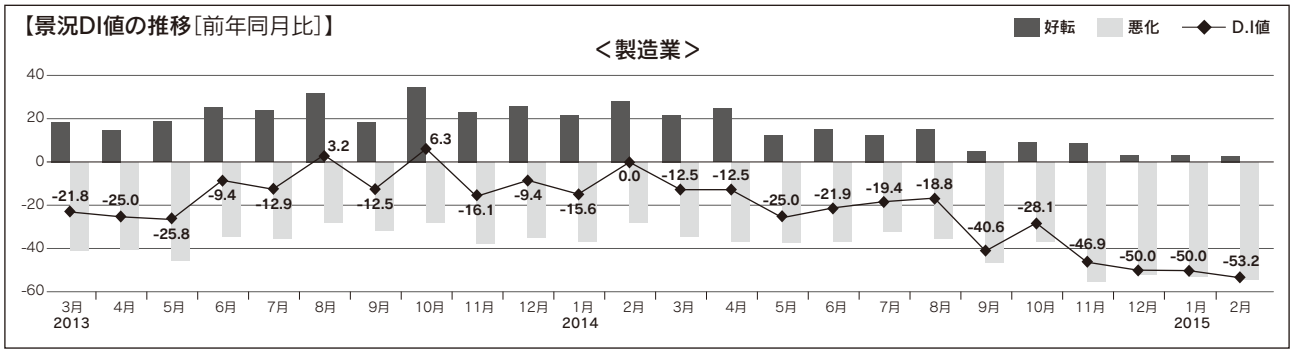
※DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。

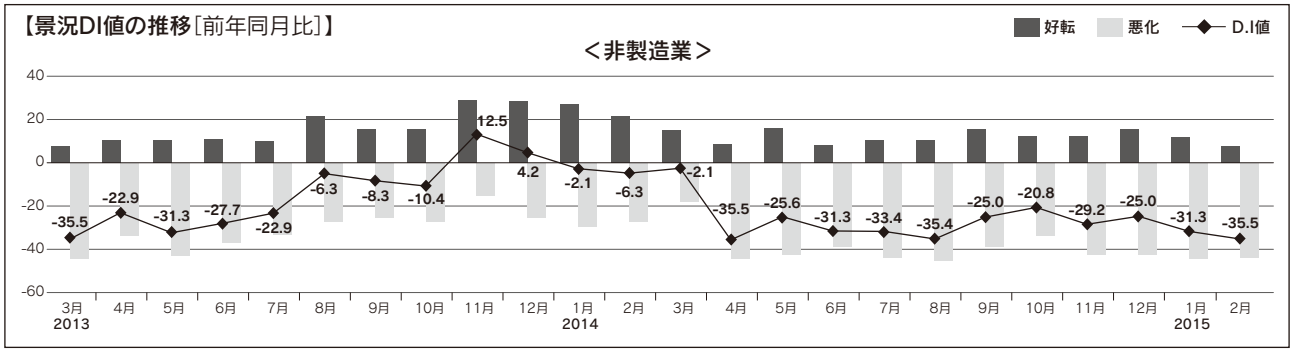
【業 界 の 声】 ～製 造 業～

（回答数：32名　回答率：100%）

食料品（豆腐）	前年同月比で売上が微減した。なお、燃料価格の下落により、配送コストや燃料コストは低下したが、原材料費の高止まりの影響により、前年同月比で収益状況は悪化しており、景況の改善を実感できていない。
繊維製品	紳士服は、前年同月比で横這いに推移した。一方、婦人服は、ロット数の多い定番リピート商品の受注増等により、前年同月比で売上が増加した。
木材・木製品（一般製材）	原木在庫量は、15,821㎥（前月12,957㎥）で前月比2,864㎥の増加、製品販売量は2,705㎥（同3,154㎥）で前月比449㎥の減少となった。なお、新築住宅戸数が減少傾向となっており、市況が好転する兆しは見られていない。また、商社から製品販売単価3,000円／㎥の引き下げ要請があり、収益状況の悪化が懸念される。
印　刷	依然として需要の低迷が続いており、年度末の需要期でも動きは鈍い状況となっている。また、低価格の受注状況を改善できておらず、更に諸材料等の価格が高止まりしているため、経営を圧迫している。（中央地区）
窯業・土石（生コンクリート）	2月の出荷数量は、前年同月比で83.0%と低調に推移した。また、今年度は本荘由利地区の工事が大幅に減少（前年同月比40.4%）したため、平成26年4月～平成27年2月の出荷数量の累計は、前年比97.6%となった。なお、平成27年度の秋田県内の出荷数量は、770,000㎥（前年比96.1%）前後になると予測している。
鉄鋼・金属（鉄鋼）	2月は、季節的要因により新規発注物件が減少し、稼働率は前年同月比で下回っている状況となっている。なお、来月以降は発注物件が増加することに期待したい。
一般機械	当面の受注量は確保しているが、今後の先行きは不透明である。また、依然として原材料価格が高止まりしているため、収益状況の改善には至っていない状況となっている。
その他の製造業（漆器）	展示会等への出展や体験教室の開催等により、川連漆器伝統工芸館への客足、来館者数が伸びたため、前年同月比で売上が増加した。しかし、前年比で売上が減少しているため、異動等が活発になる来月は、記念品の販売等で売上増加を図っていきたい。







【業 界 の 声】 ～非 製 造 業～

（回答数：48名　回答率：100%）

卸売業 （商業卸）	包装資材や日用雑貨、文房具事務機器関係、酒類卸関係の引き合いが減少したため、前年同月比で売上が伸び悩んだ。
小売業 （石油）	ガソリンは1ℓあたり133円40銭で前月比5円40銭の値下がりとなった。軽油は1ℓあたり118円60銭で前月比6円30銭の値下がり、また、配達灯油も18ℓで1,435円と前月比92円の値下がりとなったが、週別比では26週ぶりの値上がりとなった。なお、今後は値上がり傾向が続くことが予測される。
商店街	2月は、生花販売業と身の回り品は前年同月比で売上が減少した。一方、酒類販売業は地酒の販売が好調だったため、前年同月比で売上が増加した。なお、家電小売業は、前年同月比で売上が横這いに推移した。（秋田市）
サービス業 （旅行）	国内旅行は積雪量が少なく、建設業者の方々が個人旅行を多く利用したこと等から、前月に引き続き売上が増加し、前年同月比117.7%と堅調に推移した。一方、海外旅行の売上は、前年同月比98%となった。なお、個人旅行等の低価格商品は売上が好調だが、団体旅行等の高額商品の売れ行きは低調なため、利益率が低い状況となっている。
建設業 （電気工事）	一般住宅工事の状況は、新築、リフォームともに動きが悪かった。一方、建築物件や太陽光発電設備資材は需要増となり多忙であった。なお、依然として電気工不足が改善されていない状況となっている。
運輸業 （トラック）	2月の輸送量は、前年同月比で売上が横這いに推移した。なお、燃料価格の下落により収益が前年同月比で10%増加したが、燃料価格が値上がり傾向になっているため、来月以降は収益の減少が見込まれている。（県南地区）
その他の非製造業 （砂利採取）	2月は大雪の影響が落ち着いたが、工事等の発注が少ないため骨材の荷動きが鈍い状況となっている。（県南地区）

※今月から「景況レポート」をリニューアルしました。「景況DI値」について、「業界全体」、「製造業」、「非製造業」に分け、それぞれの推移についてグラフで示します。

話題の広場

中央会事業より

企業連携による課題解決の取り組みを促進　～「連携促進セミナー」を開催～

【セミナーの様子】

3月13日（金）に秋田キャッスルホテル（秋田市）において、企業連携による課題解決の取り組みを促進するための「連携促進セミナー」を開催しました。

セミナーでは、「組合連携コーディネート事業」を通じ新製品・新サービスの開発等に取り組んだ**協同組合秋田市民市場（進藤政弘理事長、テーマ：様々な農産物生産に適した堆肥の研究）**及び**秋田ファイブワン工業株式会社（佐賀善美代表取締役、テーマ：医工連携によるオリジナル看護師用白衣の製作）**からそれぞれ事例発表が行われました。

なお、セミナーの前段では、あおもり藍産業協同組合の吉田久幸理事長を講師に「“つながり力”が新たな連携を生み出す～あおもり藍を世界へそして宇宙へ～」というテーマで講演が行われましたので、今回は、その中から連携の成果や成功のポイント等についてご紹介します。

連携の目的：地場産業であった藍染の復活と藍の契約栽培による耕作放棄地の活用。
連携の成果：染料のパウダー化に成功したことから、染色工程の短縮だけでなく、繊維製品以外の皮革や食品等への活用が可能となった。さらに、2010年に藍染めのポロシャツがJAXAの宇宙船船内着に採用されたことから「あおもり藍」の引き合いが増加し、以後、伊勢丹を始めデザイナーズブランドとの連携や、海外の展示会への出展依頼が来ている。
成功のポイント：①目標・方向性が明確であったこと。 ②伝統産業との競合を避け、工業化に取り組んだこと。 ③農家、行政、大学、支援機関、金融機関等多くの人を巻き込み、異業種が相互補完しながら地域全体で取り組んだこと。

本会では、平成27年度も引き続き、本事業を通じ連携体構築による課題解決を支援しますので、他者との連携による新事業・新サービスを開発したい方や、自社のみでは解決が困難な課題をお持ちの方は、本会工業振興課までお気軽にお問い合せください。（☎018－863－8701）

「組合役職員事務セミナー」を開催

【セミナーの様子】

本会では、3月18日（水）にホテルメトロポリタン秋田（秋田市）において、会員組合の役職員を対象に年度末の事務や手続きを円滑に行うためのセミナーを開催し、税理士による中小企業関係税制や会計処理のポイントの説明、また、本会職員からは届出・登記等に関する事務手続きの留意点等についての説明を行いました。次ページで、税務処理の一例をご紹介します。

また、年度末事務手続きについては、本号に挟み込みの「組合決算期の事務手順」や3月号掲載の「剰余金処理及び損失処理について」を参考にしていただき、ご不明な点については、本会事業振興部（☎018－863－8701）までお気軽にお問い合わせ下さい。

【中小企業者等の少額減価償却資産の特例について】

青色申告書を提出する中小企業者等が平成28年3月31日までに取得し、事業の用に供した**取得原価が10万円以上30万円未満の減価償却資産**について、取得原価の**合計が300万円に達するまで**当該事業年度の損金に算入することができる。

(例) 当期中に下記の減価償却資産を取得し、事業の用に供した。
プリンター　@250,000円×　8台＝2,000,000円
パソコン　　@150,000円×15台＝2,250,000円　合計4,250,000円

(1) 取得価額20万円以上30万円未満の減価償却資産につき少額減価償却資産の特例を適用して損金の額に算入する。　@250,000円×8＝2,000,000円

(2) 取得価額10万円以上20万円未満の減価償却資産につき限度額に達するまで少額減価償却資産の特例を適用して損金の額に算入する。
①限度額残高　3,000,000円－2,000,000円＝1,000,000円
②損金算入額　@150,000円×6＝900,000円

(3) 上記(2)以外の取得原価10万円以上20万円未満の減価償却資産については、一括償却資産の損金算入(法人税法施行令133条)を適用し3年間均等償却を実施する。
①一括償却資産取得原価合計　2,250,000円－900,000円＝1,350,000円
②損金算入額　1,350,000円÷3＝450,000円
したがって、当期、翌期、翌々期の3期に亘り、450,000円ずつ均等償却する。

アラカルト ●a la carte●

■創立50周年記念式典を開催　～秋田県農業機械商業協同組合～

3月5日(木)、秋田キャッスルホテル(秋田市)において秋田県農業機械商業協同組合(白石光弘理事長)の創立50周年記念式典が開催され、佐竹敬久秋田県知事や本会藤澤正義会長をはじめ、関係者等約100名が出席しました。

当組合は昭和39年の設立以来、「組合員のための組合づくり」を基本姿勢として共同購買事業や金融事業、教育情報事業等の実施を通じ、県内農機販売業者の経営基盤の強化や経営の安定を図ってきたほか、行政機関と連携し、組合員の社会的地位の向上や農業機械の流通秩序の維持に取り組んできました。

【感謝状贈呈の様子(右：白石理事長)】

記念式典では、白石理事長が挨拶で「今日まで共に歩んできた組合員やご支援いただいた皆様に深く感謝するとともに、秋田県農業と農機販売整備業界の更なる飛躍を目指し、気持ちを新たに組合事業を推進して参りたい。」と今後の決意を述べ、続いて、来賓を代表して佐竹知事及び本会藤澤会長等から、当組合の今後更なる発展を祈念する旨の祝辞が述べられました。

また、佐竹知事から白石理事長に対し、農業功労に対する表彰状が授与され、株式会社商工組合中央金庫から当組合に対し感謝状が贈呈されたほか、組合運営に功績のあった役員や組合員企業の従業員、協力企業等に対し、表彰状や感謝状が贈られました。引き続き祝賀会が開催され、節目の年を盛大に祝いました。

新理事長紹介

役員改選により、下記の方々が新しく理事長に選出されましたので、ご紹介します。

日通秋田輸送事業協同組合（秋田市）
理事長　**飯詰　昌幸**さん
組合員名：日通秋田運輸株式会社
役　　職：代表取締役社長
改 選 日：平成27年1月13日

秋田県板金工業組合（秋田市）
理事長　**加藤　美喜夫**さん
組合員名：加藤板金
役　　職：代表
改 選 日：平成27年2月24日

－会員組合の皆様へ－
本コーナーでは、理事長交代について紹介しております。今後、新しい理事長が選出された場合は、本会企画広報課（☎018-863-8701）までお知らせください。併せて、イベント情報等もお寄せ下さい。

雇用と生活の確保と県内経済活性化について要請（連合秋田）

3月12日（木）、日本労働組合総連合会秋田県連合会（連合秋田）の東海林悟会長等が秋田県商工会館（秋田市）を訪れ、本会の髙橋清悦専務理事をはじめ経済5団体の代表に対し、月例賃金引き上げをはじめとする雇用の確保及び公正な労働条件の確保等について要請しました。

秋田県では、有効求人倍率が23年ぶりに1倍台に回復するなど改善が見られる一方で、低賃金の非正規雇用の求人増加や業種間・地域間における求職数の格差、雇用のミスマッチ、ワークルールに関する相談の増加等、法令遵守の徹底や働きがいを感じられる職場づくりへの対応が急務となっています。

要請に対し、髙橋専務理事からは、「本会ではものづくり補助金の秋田県地域事務局として、企業の課題解決への取り組みを支援しており、採択については賃金の引き上げが評価項目にも定められていることから、本事業の実施を通じ雇用状況の改善を推進するほか、会員組合及び組合員企業の経営支援を行うことで、県内経済の活性化に結びつけたい。」と応じました。

【要請書を受け取る髙橋専務理事（左）】

【意見交換の様子】

本会会員組合及び組合員企業の皆様におかれましては、経済の好循環実現に向け、賃金改善及び労働時間の短縮について、特段のご理解とご協力をお願い致します。

インフォメーション

ODAを活用した中小企業の海外展開支援のご案内（独立行政法人国際協力機構）

（独）国際協力機構（JICA）では、ODAを活用し中小企業を始め日本企業の優れた製品や技術等を途上国の開発に活用することで、途上国の開発と日本経済の活性化を支援しています。

【JICAの支援メニュー（例）】

①現地進出に向けた情報収集や事業計画作成を行いたい→**「基礎調査（上限850万円）」**
②貧困層（低所得者）向けビジネスを開発・展開したい→**「案件化調査（上限3,000万円）」**
③自社製品・技術のニーズを検証したい→**「普及・実証事業（上限1億連）」**

※詳細につきましては、JICA東北　市民参加協力課（☎022－223－4772）までお問い合わせ下さい。

本県より3名合格！　～中小企業組合検定試験合格者発表～

昨年12月7日（日）に行われた平成26年度中小企業組合検定試験（全国中小企業団体中央会主催/中小企業庁後援）の合格者が3月2日（月）に発表され、本県からは以下の3名が合格されました。

誠におめでとうございます。（五十音順・敬称略）

小　山　英　行　（株式会社商工組合中央金庫）
佐々木　貴　寛　（秋田県中小企業団体中央会）
宮　原　祐　貴　（株式会社商工組合中央金庫）

※　本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方は本人の申請により「中小企業組合士」として認定されます。

「中小企業組合士」は事業協同組合等の運営エキスパートとしての公的資格で、本県では70名（平成27年3月31日現在）が組合事務局や商工中金等で活躍しています。

「中小企業組合士」「中小企業組合検定試験」に関心をお持ちの方は、お気軽に本会企画広報課までお問い合わせください。（☎018－863－8701）

人事異動のお知らせ

【秋田県】（4月1日付）

産業労働部（商工関係）の転入出者は次のとおりです。

《転入》　（　）は前職、〈　〉は派遣　　敬称略

◎産業労働部

産業労働部部長待遇（兼）東京事務所長（企画振興部次長）　牧野　一彦
産業労働部次長（産業政策課長）　水澤　聡
産業労働部次長（兼）企業立地事務所長（由利地域振興局総務企画部長（兼）地域防災監）　小林　悟
産業労働部食品産業振興統括監（兼）観光文化スポーツ部次長（兼）総合食品研究センター所長（由利地域振興局長）　熊谷　譲
産業労働部参事（兼）資源エネルギー産業課長（資源エネルギー産業課長）　赤川　克宗
産業政策課長（産業集積課長）　猿橋　進
産業集積課長（財政課政策監）　猿田　和三
産業集積課政策監（資源エネルギー産業課政策監）　川上　伸作
商業貿易課貿易振興監（地域産業振興課副主幹）　大池　幸彦
資源エネルギー産業課政策監（資源エネルギー産業課副主幹）　阿部　泰久
雇用労働政策課長（労働委員会事務局審査調整課長）　舘岡　和
産業技術センター総務管理部長（会計課総合調整主幹）　鎌田　宣男

◎産業政策課

副主幹（学術振興課副主幹）　佐藤　寧
副主幹（産業政策課副主幹〈秋田県信用保証協会〉）　高橋　源悦
副主幹〈秋田県信用保証協会〉（観光戦略課副主幹）　小松　鋼紀
主査（人事課主査）　工藤　元昭
主査（近代美術館主査）　渡部　雄二
主査（雇用労働政策課主任）　小野　雅志
主任（都市計画課主任）　刀根　雅一
主任（税務課主任）　伴藤　崇
主任（産業政策課主事）　井上　博貴

◎地域産業振興課

主幹（会計課主幹）　村上　寛
主幹（地域産業振興課副主幹）　斉藤　耕治
主幹〈秋田大学〉（地域産業振興課副主幹）　佐々木　揚
副主幹（人事委員会事務局職員課副主幹）　萩原　圭
副主幹（人事課副主幹）　渡部　一也
副主幹〈あきた企業活性化センター〉（地域産業振興課主査）　関口　淳也
副主幹（地域産業振興課主査）　黒田　逸人
主査（名古屋事務所主査）　山田　忠綱
主査（学術振興課主査）　品田　聡
主査〈あきた企業活性化センター〉（総合県税事務所納税部主査）　畑中　円
主査（総合県税事務所課税部主査）　木村　浩史
主査（観光振興課主査）　柏谷　耕
主事（学術振興課主事）　植村　実知

◎産業集積課

主幹（由利地域振興局総務企画部地域企画課長）　羽川　彦禄
副主幹（企業立地事務所副主幹）　小笠原重雄
副主幹（産業集積課主査）　石山　聰

◎商業貿易課

主幹（商業貿易課副主幹）　鎌田　雅人
副主幹（総務事務センター副主幹）　田口　一郎
副主幹（教育庁生涯学習課副主幹）　安田　路子
副主幹（商業貿易課主査）　糸屋　智喜

◎資源エネルギー産業課

副主幹（健康環境センター企画管理室主任研究員）　川原　和志

主査（資源エネルギー産業課主任）　吉田　拓郎
技師（北秋田地域振興局大館福祉環境部技師）　工藤　陽太

◎雇用労働政策課

主幹（議会事務局議事課副主幹）　佐藤　良知
副主幹（医務薬事課副主幹）　鈴木　仁
副主幹（学術振興課副主幹）　中嶋由美子
主査（子育て支援課主任）　今野　武仁

《転出》〈　〉は派遣　敬称略

◎産業労働部

総務部危機管理監（兼）広報監　岩澤　道隆
自治研修所長　山口　武秀
観光文化スポーツ部次長　草彅　作博
情報企画課長　保坂　伸
大阪事務所長　袴田　次郎
男女共同参画課長　石川　聡
財産活用課政策監　石川　定人

◎産業政策課

秋田地域振興局総務企画部副主幹　熊谷　政広
人事課副主幹〈由利本荘市〉　菅原　和房
子育て支援課副主幹　小野寺智康
秘書課主査　杉　浩司
秋田地域振興局福祉環境部主査　斉藤　友秀
労働委員会事務局主任　内藤麻衣子
雄勝地域振興局建設部主事　畠山　隼輔

◎地域産業振興課

学術振興課主幹　千葉さおり
山本地域振興局建設部副主幹　佐藤　重任
議会事務局副主幹　工藤　秀勝
人事課副主幹〈秋田市〉　髙坂　聡
人事委員会事務局副主幹　三浦　一孝
男女共同参画課副主幹　山内　雅絵
市町村課副主幹　山平　路春
障害福祉課主査　佐々木太樹也
農業経済課主査　吉田　和之
仙北地域振興局農林部主査　佐々木優誠
平鹿地域振興局建設部主事　保坂　駿

◎産業集積課

仙北地域振興局総務企画部地域企画課長　根田　好倫
市町村課副主幹　大門　英明

◎商業貿易課

広報広聴課副主幹　小野　貴宏
観光戦略課主事　鈴木　千賀

◎資源エネルギー産業課

産業技術センター総務管理部副主幹　竹内　洋之
環境管理課主査　佐藤　昌則

◎雇用労働政策課

生活衛生課主幹　奥山　澄子
議会事務局主幹　鈴木　久
交通政策課主査　松倉　和美

【日本銀行秋田支店】（3月2日付）

（　）は前職　敬称略

《転入》

秋田支店長（文書局総務課長）　野見山浩平

《転出》

総務人事局（秋田支店長）　小田　信之

【株式会社商工組合中央金庫秋田支店】（3月16日付）

《転入》

調査役（渋谷支店）　奈良　克彦
調査役（長岡支店）　花田　俊介

《転出》

酒田支店調査役　斎藤　修
ソリューション事業部調査役　田部井良平

【秋田県中小企業団体中央会】（4月1日付）

（　）は前職

○参事兼横手支所長
（事業振興部部長待遇兼横手支所長）　山本　浩一

◎総務企画部

○総務課主事（総務課主事補）　原田　千凡

◎事業振興部

○工業振興課主査（工業振興課主任）　谷口　秀明
○工業振興課主事（総務企画部企画広報課主事）　菅　佑輔
○商業振興課主事（商業振興課主事補）　佐々木貴寛

【新規採用職員のお知らせ】

4月1日付で職員を新規採用しました。宜しくお願い致します。

嶋田　貴裕（しまだ　たかひろ）
【総務企画部企画広報課主事補】

【退職職員のお知らせ】

本会参与髙橋公悦さんが、3月31日をもって定年退職致しました。

髙橋公悦さんは、25年間にわたり県内の組合・業界の育成・支援に力を尽くされ、本会の発展に大きく貢献されました。

今後益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

官公需適格組合
『カ デ ル』

秋田管工事業協同組合

理 事 長 髙 橋 正 男
副理事長 山 岡 緑三郎
〃 本 多 秀 文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161／FAX 018(824)5685

ものづくりのご相談なら

秋田市工業団地協同組合

理 事 長 伊 藤 和 宏
副理事長 藤 澤 正 義
専務理事 深 川 雅 通
理 事 志 渡 輝 夫
〃 柿 崎 昭 雄
〃 菊 地 直 也
事務局長 須 田 清 子

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-44
TEL.018-823-3917／FAX.018-862-9948

株式会社 八幡平貨物

八幡平貨物整備工場

一般貨物輸送 長距離輸送 産業廃棄物収集運搬
クレーン作業(25tラフター 13tラフター ユニック車)
ダンプ 木材(生産・運搬)

〒018-5141 秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116－12
TEL.0186-34-2011

相続・事業承継のご質問・ご相談を
お気軽にどうぞ!!

保険&リース
株式会社 北日本ベストサポート

〒010-0967
秋田市高陽幸町8番17号
TEL.018-883-1888
FAX.018-883-1822
URL http://www.knbs.jp

人の輪を大切にし、建築の輪を広げる会社

千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤 澤 正 義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170－49 TEL 018(864)6200(代)
建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170－19 TEL 018(888)3666
URL：http://www.k-chiyoda.jp

全国中小企業団体中央会 会員の皆様へ
全国商工会議所 会員の皆様へ

業務災害補償制度、取引信用保証制度

もしものために **生保・損保(加入見直し)**

AKITA HOKEN

保険と暮らしの相談センター

株式会社 アキタ保険

秋田市山王6丁目5-9
TEL.018-864-6921
FAX.018-864-6922
URL http://akitahoken.co.jp

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。

まごころと技術でこたえる・・・
株式会社秋田クボタ
〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel：018-845-2121 Fax：018-845-6600

30th Anniversary

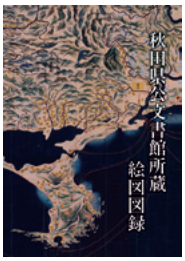
秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど
あらゆるリクエストにお応えいたします。

ホテル メトロポリタン秋田
〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1
TEL.018-831-2222

待望の貴重本発刊！数量限定につき、お早めにお申し込みください！

200部限定！ 秋田県公文書館所蔵 絵図図録



［頒布価格］
2,000円（税別）

秋田県公文書館が開館20周年を記念して、所蔵絵図から158点を掲載した図録を刊行しました。

A4判、全184ページ（絵図ページはフルカラー）、並製本 ［発行］秋田県 ［編集］秋田県公文書館

300部限定！ 秋田県レッドデータブック2014～維管束植物～

［頒布価格］
2,000円（税別）

最新のレッドリストに基づいて、種ごとに生育状況等を詳述。生物多様性保全のために欠くことのできない基礎資料です。

A4判、全224ページ（口絵ページはフルカラー）、並製本 ［編集・発行］秋田県

500部限定！ 大館桂高校100年史

［頒布価格］
2,800円（税別）

100年間地域の発展とともに飛躍を遂げた大館桂高校。平成28年の統合前に100年の軌跡を振り返る最後の記念誌です。

B5判、全232ページフルカラー、上製本、付録CD（収録曲：校歌、桂体操伴奏）
［編集］秋田県立大館桂高等学校

秋田県公文書館・秋田県・大館桂高校ではお問い合わせ、お申し込みの受け付けをしておりません。

❶氏名❷住所❸電話番号❹書籍名❺注文冊数をご記入のうえ、当社**ホームページ**または**FAX・ハガキ**でお申し込みください。

[HP] http://www.kappan.co.jp/ [FAX] 018-888-3505

※書店では販売しておりません。送料は別途になります。※お支払いは、同封の郵便振替用紙にてお願い致します。
※ご注文の際にいただいた個人情報は、商品の発送以外には使用いたしません。

秋田活版印刷株式会社
本　　社●〒011-0901 秋田県秋田市寺内字三千刈110-1 [TEL]018-888-3500(代) [FAX]018-888-3505
東京営業所●〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-31-10-208 [TEL]03-5927-8101 [FAX]03-5927-8102

2015 4 Apr
中小企業あきた
平成27年4月1日発行（毎月1日発行）第659号
発 行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎ 018-863-8701 FAX 018-865-1009
印 刷/秋田活版印刷（株）
定価280円